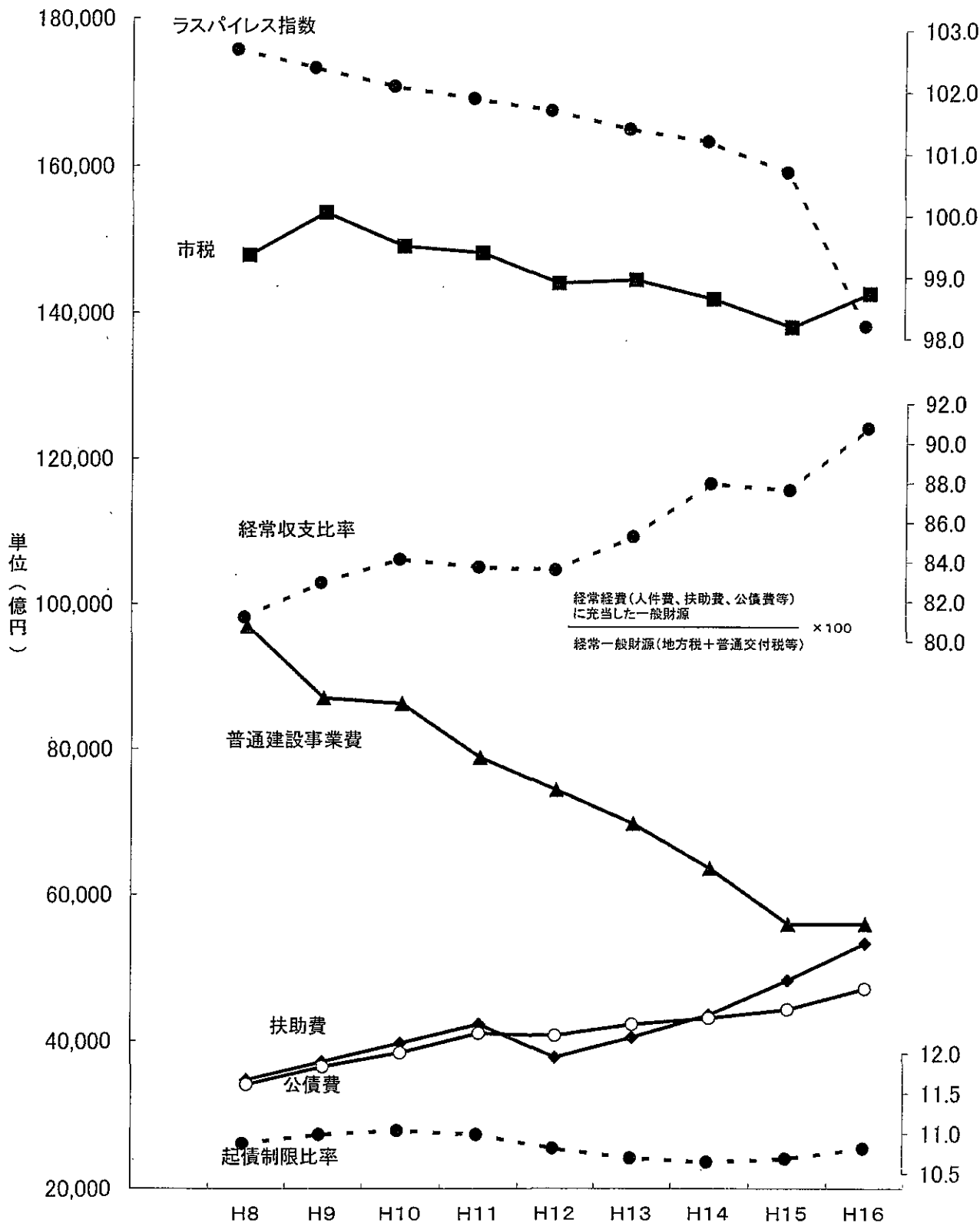


都市における行財政改革の状況（全都市 普通会計）



- ・市税が減少する一方で、扶助費・公債費等の義務的経費が増嵩しており、このため普通建設事業が抑制されている。
- ・義務的経費の増嵩により経常収支比率が高まるなど財政の硬直化が進んでいる。
- ・扶助費の主なものは、保育所運営費、生活保護費、障害者支援費及び児童手当などである。

(注) 右軸は、ラスパイレレス指数、経常収支比率、起債制限比率の値を示している。  
 ラスパイレレス指数には指定都市及び特別区を含まず。その他の数値については特別区を含まず。